

事務事業名	平成26年度全国高等学校総合体育大会(ホッケー)開催事業		所属部局	教育委員会	単位番号	2013-900107				
	□ 実施計画事業		所属課室	生涯学習課	課長名	小野 義邦				
			所属担当	社会体育	担当者名	飯野一幸				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	26	スポーツ・レクリエーションの振興	事業区分	01	一般	10	05	01	030	10
施策	40	スポーツ・レクリエーション活動の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 ( 25 ~ 26 年度)			法令根拠	<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金					
事業概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 平成26年度に南関東(山梨、東京、神奈川、千葉)で開催される全国高等学校総合体育大会(インターハイ)において本市でホッケー競技を開催する。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				負担金	9,828					
						計	9,828			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	平成26年度に南関東ブロックで開催されるインターハイにおいて、本市でホッケー競技を開催・成功させる。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	平成26年度で事業終了。			ア 実行委員会開催数	回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	平成26年度全国高校総体(インターハイ)ホッケー競技 市民		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 参加校	校
					イ 市の人口	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	インターハイを通じて市民のスポーツへの関心を高めると共に、全国の高校生に南アルプス市を知ってもらおう。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 参加高校生	人
					イ 参加都道府県	都府県
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	平成26年度のインターハイを成功させ、市民スポーツの機運を高め、市を活性化するとともに、南アルプス市を全国にPRする。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 来場者	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円		1,750	15,861					
		事業費計(A)	千円	0	1,750	15,861	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人		2	3					
		延べ業務時間	時間		2,000	2,000					
		人件費計(B)	千円	0	9,102	9,102	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	10,852	24,963	0	0	0	0	0
	活動指標	ア	回		1.0	2.0					
		イ									
		ウ									
	対象指標	ア	校		48.0	48.0					
		イ									
		ウ									
	成果指標	ア	人		720.0	720.0					
		イ	都府県								
		ウ									
	上位成果指標	ア	人			2,000.0					
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成26年度の大会は南関東ブロックでの開催であり、旧白根町時代に昭和61年の甲斐国体や平成8年のインターハイの開催実績があり、競技に携わった市民も多く、南アルプス市の特色あるスポーツとして新市以降も推
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	インターハイは平成16年からそれまでの持ち回り開催から、地域開催に移行し、山梨県では平成8年に「山梨総体」として開催し、旧白根町でホッケーを行っている。今大会は既存の施設・用具等を最大限に活用した大会運
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	大会には3コート必要であり白根中央公園(天然芝)、山梨学院ホッケースタジアム(人工芝)、白根高校第二運動場(人工芝)を使うが、白根高校第二運動場は改修要請を行ったところ、平成25年度県が改修を実施。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	既存施設を有効に活用するなかで、経費の削減に努めている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	会場設備に不足が生じる場合、他競技の会場から一部備品の借用をし新規購入の経費削減に努めた。

事務事業名	平成26年度全国高等学校総合体育大会(ホッケー)開催事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民のスポーツへの関心を高め、本市スポーツ振興の契機とする。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 平成26年度の大会は南関東ブロック(山梨、東京、千葉、神奈川)での開催で、山梨では「陸上競技、卓球、サッカー、ボート、自転車競技、ウェイトリフティング、カヌー、本市でホッケー競技を行う。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 インターハイにおいて本競技を開催・成功させ市民のスポーツ機運を高め、市を活性化させるとともに、南アルプス市を全国にPRする。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 インターハイの競技運営には市内の巨摩高校や白根高校以外の学校の生徒・教員も携わることから、ホッケー競技やインターハイを開催できる施設を保有する南アルプス市への関心が高くなる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 平成26年開催地として決定している。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 平成26年開催地として決定している。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 既存施設を使用することによって経費の削減に努めている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 専任職員の配置及び増員が必要である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 高校生相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年の育成を目的としており、インターハイ開催により市民へのスポーツへの関心を高め、本市スポーツ振興の契機となる。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	インターハイという高校生最大の祭典を成功させ、南アルプス市を全国にPRする。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 特になし。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 特になし。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					